第2[回駿東田方圏域地域医療構想調整会議

資料

議題

公立病院経営強化プランの策定について

公立病院経営強化プランの策定状況について、御意見を伺うものです。

- ① 静岡県立がんセンター病院
- ② 沼津市立病院

公立病院経営強化プランの策定状況

(医療局医療政策課)

1 概 要

- ・県内の各公立病院では、2023 年度までに「公立病院経営強化プラン」を策定し、地 域医療構想調整会議で協議することとなっている。
- ・今回、公立病院経営強化プランの策定に係る総務省の事前調査が実施されており、 各公立病院から提出された策定状況を一覧に取りまとめたので、協議する。
- ・なお、総務省の調査は全部で228項目あり、全ての内容を掲載した場合膨大な量となるため、地域医療構想と関わりが深い項目や、公立病院経営強化プランで新たに記載が必要となった項目等に絞り提示する。

2 提示項目

- (1) 病床数 (許可病床数、稼働病床数、2021 年度の病床機能報告)、病床利用率
- (2) 診療科目・機能等(診療科目、特殊診療機能、指定病院の状況)
- (3) 現状の課題等
 - ・近接する病院の役割・機能との重複による課題
 - ・地域医療構想実現に向けた当該病院の課題
 - ・新型コロナウイルス感染症対応における他の医療機関との役割分担や連携における課題
 - ・上記3点の課題等を踏まえた取組及び取組による改善見込
- (4) 地域包括ケアシステム
- (5)機能分化・連携強化の取組
 - ・改革プラン又は新改革プランに基づき実施済みの機能分化・連携強化の取組
 - ・公立病院経営強化プランに基づき今後実施予定の機能分化・連携強化の取組
- (6) 医師働き方改革への対応
 - ・医師の労働時間の把握状況、労働時間管理システムの導入状況 等
- (7) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
 - ・コロナ対応等を踏まえた感染症対応における役割
 - ・平時からの取組として現在検討中の取組
 - ・感染症法改正による都道府県との協定の締結予定
 - ・感染症法改正における対応

		病床数													病床利用率												
	2021年度病床機能報告の内容																										
			許可犯				科	家働病床数	文 ·		2021年実績				2025年見込み												
病院名	— 般	療養	精神	結核	感染症	計	般	療養	#	高度急性期	急 性 期	回復期	慢 性 期	休棟等	i †	高度急性期	急性期	回復期	慢 性 期	休棟等	計	平成29年度	平成30年度	令 和 元 年 度	3 ヶ 年 平 均	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度
静岡がんセンター	615	0	0	0	0	615	605	0	580	565	50	0	0	0	615	565	50	0	0	0	615	89.1%	88.5%	89.9%	89.2%	81.6%	86.1%
沼津市立病院	387	0	0	0	0	387	387	0	387	184	153	50	0	0	387	7	330	50	0	0	387	66.0%	71.7%	73.6%	70.4%	64.1%	63.8%

		診療科目・機能等																												
	診療科目										特殊診療機能				指定病院の状況															
病院名	内 科	神経内科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	脳神経外科	ひ尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	放 射 線 科	歯科口腔外科	麻 す い 科	そ の 他	標榜診療科目数	人間ドック	人工透析	C C U .	N I C U ·	訓練室 動機能	おン (放射	救急告示病院	臨床研修病院	連携拠点病院がん診療診療	医療機関感染症指定	拠点病院へき地医療	災害拠点病院	地域医療支援	特定機能病院	病院群輪番制
静岡がんセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	-	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	0	-
沼津市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	-	0

				現状の課題等		
	近接する	る病院の役割・機能との重複による課題(69)				
病院名	役割・機能が重複す る病院名	課題の内容 【自由記載欄】	地域医療構想の実現に向けた当 該病院の課題(70)	新型コロナウイルス感染症対応における他の医療機関との 役割分担や連携における課題(71)	左記3点の課題等を踏まえた当該病院の役割・機能の見直し、明確化・最適化の取組 (73)(74)	左記取組による改善見込(75)
静岡がんセンター	なし	なし	検討中	なし	・地域の医療機関等との連携体制の構築	
沼津市立病院	ンター、独立行政 法人国立病院機構 静岡医療セン	駿東田方医療圏には当院を含め5つの急性期病院があるが、病院の設置主体が国、県、市、大学病院、 民間病院など様々であるため、ガイドラインに例示されるような「基幹病院に高度急性期機能を集約する」など、各病院の運営を左右する判断・調整は当市単独では困難。	・医師の不足 ・医師以外の医療従事者の不足 ・病床(数)の再編 ・診療科偏在 ・地域連携・地域包括ケア ・新型コロナの影響による患 者動向や救急搬送数の変化	・急性期治療を終えた感染症患者の受入体制 ・人手不足、スタッフへの負担 ・施設の老朽化、狭隘化による受入体制やゾーニング の難しさ ・通常診療への影響(受入制限等)	・地域の医療機関等との連携体制の構築・地域連携クリティカルパスの導入	今後検討

	地域包括ケアシステム	機能分化・連	携強化の取組		医師働き方改革への対応							
病院名	地域包括ケアシステムの構築に向け た当該病院の課題(88)	改革プラン又は新改革プランに基づき実施済みの機能分 化・連携強化の取組(90)	公立病院経営強化プランに基づき今後実施予定の 機能分化・連携強化の取組(91)		医師の労働時 間管理システ ムの導入状況 (166)	外労働と自 己研鑽の区	自病院の医師 の副業・兼業 先も含めた労 働時間の把握 状況(168)	医師の労働時間の把握に当たっての				
静岡がんセンター	・関係事業者との連携強化 ・入退院支援や相談機能の充実	なし	・地域連携クリティカルパスの導入	把握済み	導入済み	対応済み	把握済み					
沼津市立病院	・関係事業者との連携強化 ・入退院支援や相談機能の充実	・病院・診療所間の連携体制の構築 ・役割・機能の見直しによる病床数の見直し ・医薬品、診療材料の共同購入 ・基幹病院における高度な医療機能の整備	・病院・診療所間の連携体制の構築 ・役割・機能の見直しによる病床数の見直し ・医薬品、診療材料の共同購入 ・基幹病院における高度な医療機能の整備	把握済み	検討中	対応済み	事前承認においるを関しているでは、おいいのでは、おいいのでは、おいいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・勤怠管理システムの導入・維持 経費が過大・副業、兼業先の勤務時間が把握				

	新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組												
		コロナ対応領	等を踏まえた。	感染症対応に	おける自病院	記の役割(201)			感染症法改正(令和 6 年 4 月 1 日施行予定)				
病 院 名	定 医 療 機 関特 定 感 染 症 指	指定医療機関	指定医療機関	重 点 医 療 機 関	協力医療機関	等を設置 外来 を数置来	役 割 な し	平時からの取組として現在検討中の取組(204)	により新たに規定される、病床、発熱外来等の医療の確保等に関する都道府県との協定の締結予定(205)	感染症法改正に際し、当該病院がどのような対応をするか(もしくは検討している内容)(206) 【自由記載欄】			
静岡がんセンター				0				・感染拡大時に活用しやすい病床や転用しやすいスペース等の整備 ・感染拡大時における各医療機関の間での連携・役割分担の明確化 ・感染拡大時を想定した専門人材の確保・育成・感染防護具等の備蓄 ・院内感染対策の徹底 ・クラスター発生時の対応方針の共有	有り	_			
沼津市立病院				0				・感染拡大時に活用しやすい病床や転用しやすいスペース等の整備 ・感染防護具等の備蓄 ・院内感染対策の徹底 ・クラスター発生時の対応方針の共有	有り	令和5年度以降のコロナ対応の病床数やレイアウト の方針を具体化し、これに伴う看護職員の配置や医 療機器の設置などの課題事項を精査・検討中			